

2020年度第2回教育課程編成委員会議事録  
(観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科)

日時	2021年3月8日(月)	場所	8号館 4F ホスピタリティホール	進行	湊	記録	北原
出席者	企業側 (12名) 敬称略・順不同						
	学科	企業名・団体名			お名前		
	観光・鉄道	一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会			津金 貴浩		
	観光・鉄道	千葉都市モノレール株式会社			山口 晋司		
	観光・鉄道	東日観光株式会社船橋支店			酒井 大之		
	観光・鉄道	株式会社日本旅行千葉支店			只隈 修一		
	テーマパーク	イオンモール キッズドリーム合同会社			伊藤 弘美		
	ブライダル・デュアル	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会			飛田 和子		
	ホテル・デュアル	ホテルニューオータニ幕張			風間 昭彦		
	ホテル・デュアル	シティパークアンドサービス株式会社			加藤 哲也		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社旅行綜研			石井 光彦		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社ジャッツ 成田空港事務所			鈴木 繁		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	一般財団法人成田国際空港振興協会			岸本 達也		
エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社エコーパートナーズ			山田 将人			
学校側 (10名)							
竹ノ谷、立石、中山、石神、茂野、塚本、小園、湊、北原、栗原							
議事録	<b>【全体会】</b>						
	<p>司会進行：湊</p> <p>今回の教育課程編成委員会は、観光科・鉄道科・テーマパーク科・エアライン科・語学集中科・ホテル科・ブライダル科・デュアル科で開催。</p> <p>1. 事業副本部長挨拶：竹ノ谷          前回の教育課程編成委員会はコロナ禍で観光業界が大変な状況だったが、現状も変わらず大変な状況である。学校はほぼ全ての行事が中止となり、就職未決定の学生は過去類を見ない状況。学生には非常にかわいそうな状況である。何か就職のチャンスがあればぜひ連絡を頂戴したい。次年度も観光業界への目的意識が強い学生が入学してくる。ここ数年学生が増え続けていたが、コロナ禍で厳しく不安な状況。仕方ないといしか言いようのない状況だが、この大変な時期に職員間でのチームワークが見られたと思う。次年度、4月から小中高のICT教育が本格化される。千葉はまだ遅れているが、行政がタブレット等貸与し、Wi-Fi環境を整える。当校もWi-Fi設備等IT環境を整えていく。観光業界が苦しい中でも前を向いてポジティブに頑張っていきたい。</p> <p>2. 業界・企業の最新情報          ・コロナとの共存を見据えた、各業界の新たな取り組み</p> <p>湊          コロナと共存するために各企業様が新たに取り組んでいることはあるか？</p>						

加藤氏（ホテル・デュアル）

- ・ホテルマンの人材ビジネスとして、固定費率がとても低く、早い時期にリゾート請負（GOTO 時期）、コンサル、研修にも進出し、挑戦しやすい環境がある。
- ・ホテル単体では無く大手ディベロッパーと組む等幾つかの複合施設大規模事業に参入している、また既存のビジネスに加え新しいビジネス展開を行っているところ
- ・今年度の赤字幅は思ったより少なくなりそうである（結果として黒字の決算であった）、離職者も少なく新規でサービスアパートメントの契約も獲り、次年度も希望に満ち溢れている。

風間氏（ホテル・デュアル）

- ・今までは外国人客 6、7 割と日本人客向けの営業形態だったがコロナと対面し、外国人客はこの 1 年で 0 になった。一般の宴会もほぼ 0、ブライダルもほぼキャンセルとなり厳しい 1 年となった。
- ・次年度に向けての取り組みを模索中。スタッフ休業制度を取り、耐えている状況。
- ・通常のビジネスに戻せるよう頑張っているところ。今まで取り入れていなかった若年層の取り込みに取り組んでいる。
- ・基本に立ち帰り、新たなお客様の取り込みに向けてチャレンジ中だがまだうまくはいっていない。

飛田氏（ブライダル・デュアル）

- ・コロナで、ブライダル音響の仕事を止める企業が増えた。
- ・コロナキットを使い、結婚式のキャンセルを防ぐ取り組みを始めたところ。現在ご家族のみでの挙式が多いが、コロナキットを使い今まで通りの結婚式（友人や同僚をゲストで招待するスタイル）実現を目指しシステムを構築し始めた。反応は良い。当社として商売にはならないが、元通りのブライダル実現のため頑張っている。

津金氏（観光・鉄道）

- ・GoTo で旅の力が示された。世の中の景気回復が観光業界となっている今、これをどう活かしていくべきか。
- ・GoTo で修学旅行等団体旅行には動きがあった。個人旅行はまだまだだった。感染症対策をうたい、小型の旅行から始めていくということである。
- ・会社としては、ワクチン接種需要の事務局を狙っている。地域を活性化させるために、観光のお金の使い方を地域に変えてもらう。旅行業界はデータ収集や調査事業にたけている業界なので、ワクチン接種需要事務局の業務は必要とされるはず。
- ・観光業界が地域のアドバイザー的存在になれるよう努める。

山口氏（観光・鉄道）

- ・鉄道はお客様を運ぶのが主体なので、突破口はまだ見えていない。
- ・在宅勤務で出勤が減っている中、定期券収入は 2 割 3 割減。
- ・今年度は赤字。次年度も厳しい状況が続くであろう。不景気に強い鉄道業界だが、在宅勤務が増え利用客が減っている為、頭を悩ましている。
- ・モノレールを地域で活用できないかについて千葉市と検討中。例えば駅舎をリモートワーク用で使うなど、地域のために別の活用方法を模索して行く。

酒井氏（観光・鉄道）

- ・インバウンド部隊は月に 4 日までの出勤制限、教育旅行部隊については月 10 日ほどの出勤。
- ・インバウンドは全く仕事がないが教育旅行は日帰り旅行に動きがあった。日帰り遠足などは通常の倍のバス予約もらった。
- ・インバウンドについてはしばらく厳しいので、地方の名物を物販販売するなどのチームを作り活動している部署もある。
- ・秋は GoTo で売上げが上がった支店もある。県内ありきの個人旅行から盛り上げて行けたらと思う。

只隅氏（観光・鉄道）

- ・支店は退職と異動で縮小している。2022、23年の教育旅行が動いているのでそれに向けて始動

伊藤氏（テーマパーク）

- ・1年前ごろからお客様のキャンセルが相次いだ時期で、それから1年経った今も団体客にも影響が出ている。
- ・行事のキャンセルでお越し頂けなかったお客様に、お仕事ドリルの無償配布。各業界についてクイズ形式で記載した内容。
- ・3月は卒業旅行の時期だが行けない状況なので、1日限定で16歳以上のお客様用プランを実施予定。
- ・悔しい思いをしている子供達だが、今後の生きる糧になると思うので大人も頑張っていきたい。

鈴木氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・空港事務所としては休業補償で雇用を切らず業務を行っている状況。
- ・グループ全体として、空港のように仕事が0のところもあればコールセンターのような場所は仕事がある。そのような場所に社員を振り分けている。
- ・今までの経験やスキルではなく、一から新入社員になったつもりで新しい業務を行ってもらっている。
- ・リモート化が進んでいるが、必ず人が必要などころはある。対面に対応出来るよう人材の確保を模索

岸本氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・昨今の頃は、オリンピックのため新しい体制を準備していたがコロナでダメージを受けた。
- ・成田空港と共に歩んできたが、空港に依存しすぎていたためにダメージが大きいと感じた。騒音調査を他空港で行うなど、成田空港以外の仕事も積極的に取っていく。
- ・厳しい状況がしばらく続くが、回復した時に対応できるよう既存の業務と新しい業務のバランスをきちんととっていききたい。

石井氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・海外添乗は0だったが、GoTo効果で国内添乗の数字は会社始まって以来上げることが出来た。
- ・運営スタッフ250名のうち退職は3名、派遣スタッフは40パーセントが去り。残った派遣スタッフを公の仕事に派遣している。
- ・休業補償で何とか業務を続けているが、約200名の派遣スタッフが他業種に移っていった。
- ・リアルとオンラインをどう区分していくか。添乗はリアルだが、オンラインでの添乗員養成を始めた。最終的には、添乗は人とかかわるリアルな仕事なので指導する必要がある。
- ・人の集め方を工夫していかなければならず、他業種への人材派遣など方針を検討中。
- ・2020オリパラ実施により、良い方向に進めばと思う。

山田氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・雇用調整助成金を活用して会社を維持している状況。
- ・取引先であるANAグループ会社が、委託先企業の業務内容再編を実施した中で、弊社は既存の業務に加え新規業務も受託した。今後復便したら今以上に業務が増える予定。
- ・ピーチ・アビエーションに関して、2020年10月に3タミから1タミに移ったことで利便性がよくなった。今後便数が増えることが見込まれているので、対応できるよう準備を整えていく。
- ・メディアにて発表されていた内容であるが、ANAが新規のLCCの立ち上げ構想を発表していた。ビジネス展望としてそれらの業務に携わっていけることも想定して準備をすすめていく。
- ・今日は緊急事態宣言解除日だったためかPeachについては多くの搭乗をいただいた。卒業旅行などの若年層が多いように見えた。

**【分科会】観光科、鉄道科**

進行：立石が分科会を開会。

《2020年度 振り返り》

立石

- ・ カリキュラム内に入っていた一部行事を除き、予定していた多くの行事及び学校イベントが中止となった。次年度においてはコロナ対策をしつつ出来る範囲で実施していく予定。
- ・ 授業について時間割の変更等はなく、オンライン授業は実施せず、対面形式で対策しつつ行う。本年度も従来通りの時間数を確保し、可能な限り対面での授業を実施した。
- ・ 国家試験について、国内管理者受験者数 35名 合格者 10名  
総合管理者受験者数 3名 合格者 1名。

学校側としては元々40～50%の合格率を目指したが、授業が後ずれになり、例年は8月に実施する集中補講ができなかったことが合格率低下の大きな原因と推測する。ただし、今年度初めてWEB（受験用アプリ）を導入し、通学時間や空き時間に実施できるようなサブツールを導入。合格者の多くはこのアプリを多く実践、このアプリに救われたという学生の声もあり、来年度も継続して導入予定。

《カリキュラムについて》

立石

**【観光科】2年生「観光総合実務Ⅰ/Ⅱ」を導入**

→団体ツアーによって出る収益や値段設定を仮で作成し、旅行代金の仕組みや収益想定を授業内で実施する予定。

- ・ 1年後期「web筆記対策」を導入

→就職試験におけるweb筆記対策と当校で問題としている「基礎学力」の補講として、すららネットを活用し授業を行う。

**【鉄道科】・2年生「鉄道業界研究、鉄道接客演習」を導入**

→実習室を利用し、駅での接客対応や窓口案内等を学ぶ。鉄道の知識ではなく業務に必要なコミュニケーション能力を習得する。

- ・ 1年後期「web筆記対策」を導入

→今までも就職対策の授業は導入していたが、個別の能力が違い、理解度も様々であった。今回すららの導入で個々のレベルに合わせた対策ができる。

酒井氏

今後のカリキュラム編成は時代にあわせて変更が必要になっていく。そういうタイミングこそこの委員会というのが大切になっていくと思う。

《学生状況について》

立石

1年生 観光 15名（男子：11名/女子：4名）、鉄道 23名（男子：21名/女子2名）

2年生 観光 15名（男子：5名/女子：10名）、鉄道 19名（男子：18名/女子1名）

→ここ数年、観光科に入学する女性の学生が減少している。旅行会社の就職状況などを見ても各社とも女性の比率は減っているか。

津金氏

女性のほうが多い。且つ優秀である。ここ数年同じである。

竹ノ谷

広報的な部分を見ても、カウンター業務への高校の先生の反応が悪い。プランナー・添乗員のイメージを強く持たれている。もしかしたらその辺も影響しているかもしれない。

《就職状況》

富澤

内定状況

観光科 2020年度 卒業生 12名 10名内定(83.3%) 昨年：卒業生 10名中 10名内定

鉄道科 2020年度 卒業生 25名 24名内定(96.0%) 昨年：卒業生 16名中 16名内定

2021年度 現状報告

観光科 採用活動企業減(大手) 鉄道系企業や添乗派遣企業は求人あり

鉄道科 採用活動企業減(大手) 採用求人数減も目立っているが求人はある

各企業オンラインでの面接が増えている。昨年度は企業側も手探りだったが、今では多くの企業が導入している。

《最新の業界情報》

津金氏

お金の出どころを民間→公費に変えざるをえない。10人に1人が観光業に何かしら携わるという試算もあり、旅には力があるということが強く言われている。GOTO事業に表れるように、国は観光業界への力入れを進めている。「旅には力がある」

即戦力と言う意味では、カリキュラムにいれたら面白い。企業側としては、発想の転換や若い人の意見が必要である。

只隈氏

旅行業界の仕事だけでは厳しい現状の中、ワクチン接種のコールセンターなどの行政の仕事にも手を伸ばしている。

竹ノ谷

ワクチン事業などに介入する為には何か資格等は必要あるのか。

津金氏

GOTOでガソリンスタンドや飲食業が登録すれば共通クーポンが使えるように、要は事業として登録されていけば問題ないように思う。

山口氏

鉄道はお客様を運ぶという仕事が基本な以上、ノウハウをしらない他分野への投資は難しい。

場所貸し位しかできない。

鉄道事業とは街づくりの要素が大きい。街づくりのモデルとしてモノレールは使いやすく、実際に国との話もしている。例えば5Gの回線をモノレールの線路に沿ってつける等。

但し、我々の事業は収益を目先に考えるのではなく、街を豊かにすることで、利用者を増加させる。

結果的に収益があがるということを考える。結果的にインフラの役割としての事柄を優先している。

沿線開発の為に鉄道を持っていると考える等、フレキシブルな考えは必要である。

竹ノ谷

現状、特に旅行業界への就職が厳しくなっている。いずれ観光業も復活していくとは思いますが、企業の方から見て、この業界から旅行業界に転職してくるのが良いみたいなのはあるか。

酒井氏

どこの企業に属するというよりも、人間力という部分が必須。強いて言うならば人と接する仕事をしている方が良いかもしれない。

津金氏

キャリアデザイン・パソコンは何をしている。

竹ノ谷

パソコンは基礎的な入力やPPの使い方。キャリアデザインは就職について。そもそも働くとはという部分から指導している。

津金氏

企画はPPが基本。ここのスピード感というのは求められる。企画書の作成、見積もり関連とかを考えると商業系の学生は強い。

立石

今年、授業内で国際交流という授業があったが、基本的に職員は口出ししなくても自分たちの発送やアイデアで面白い動画を沢山作成していた。昔に比べると、動画作成等への抵抗もなくなっている。

津金氏

学生自身で何かを作った経験は大きい。

竹ノ谷

現在実施している卒業研究もブラッシュアップをし、より意味のあるものにしていきたい。

進行：立石が分科会を閉会した。

## 【分科会】エアライン科、デュアル科

進行：湊が分科会を開会。

### 《就職状況》

北原

- ・2020年度 エアライン内定状況 昼間部：33名内定／学生36名（91.7%）  
夜間部：6名内定／学生6名（100%）

航空業界から他の業種（業界）へ就職をする学生が多数。

- ・2021年度 就職活動実施中  
今年度も航空業界への就職は非常に厳しいため、コースを超えて就職活動を実施している。

### 《2021年度入学生》

- |                        |               |     |        |
|------------------------|---------------|-----|--------|
| ・エアライン科                | キャビンアテンダントコース | 5名  |        |
|                        | エアポートサービスコース  | 13名 |        |
|                        | エアポートカーゴコース   | 10名 | 合計 23名 |
| ・夜間エアラインコース・デュアル科エアライン |               | 2名  | 合計 2名  |

### 《2020年度 現状報告》

湊

- ・2020年度入学生について、コロナウィルス影響前に航空業界への就職を希望して入学を決めているため、就職先を他業種に切り替えることが困難であり、退学者が増加している。
- ・行事が軒並み延期、中止となっており、2020年度生については、1年次のカナダ留学が実施出来ておらず、2021年12月に実施を延期（予定）。  
2021年度生については入学後のオリエンテーション合宿が宿泊不可となったため、現在内容検討中。  
カナダ留学については例年通り9月に実施予定で動いている。
- ・2022年度より夜間エアラインコースが募集中止となる。

### 《2021年度 カリキュラムについて》

湊

- ・2021年度カリキュラム変更は2020年度を踏襲。  
航空業界を目指すためのカリキュラムであるが、業界知識や技術だけでなく他の業界にも共通する内容（立振る舞い・言葉遣い等）を取り入れる。

栞原

- ・夜間部カリキュラムについても、2020年度を踏襲。  
実習（アルバイト）を空港で行うこともできず、航空業界への就職も非常に難しいことから、業界を変更して就職活動を行っており、2021年度2年生の授業が非常に苦しい状況となる予想。

### 《企業様より各種報告》

山田氏

- ・新規業務 ⇒ コックピットクルーの送迎、Peach（LCC）の機内清掃。
- ・多様性が求められる時代となっており、目標を持って入社してきた若い世代が希望していた業務が行えず退職意向を表明する傾向。

岸本氏

- ・異分野の会社と業務マッチングを実施。  
アナウンス等のスキルを活かし、空港マッチングにてガイドや新規接客業を取り入れている。

石井氏

- ・旅行業務で培った人の誘導や振り分けのノウハウを、ワクチン接種業務に置き換えて実施予定。
- ・オリンピック・パラリンピック⇒インバウンド業務での収入は見込めず、引き続き厳しい状況。

鈴木氏

・ワクチン接種関連業務

接客スキルが求められる業務であり、旅行業界が不振で有ることからスキルを持つ旅行会社に焦点が当てられ、市町村からの依頼が入っている。

共通

- ・例年以上に多様性が求められ、通常の業務だけでなく、場合によっては業界を超えて全く異なる業務を実施することもあるため、学生に対しても多様性を身に付けられる授業を実施していく必要があると感じている。

《2021年度の計画》

湊

- ・来年度も非常に厳しい状態が続くため、航空業界や学生に対する明るい情報があれば共有頂き、今後の学生指導に活用させて頂きたい。

進行：湊が分科会を閉会した。

【分科会】テーマパーク科

進行：石神が分科会を開会した。

《コロナ禍における現状に関して》

伊藤氏

- ・感染防止のためイオンモール出入口及びパーク入口でも検温を実施している。
- ・パーク内でのゲスト対応は通常の半数で対応している。
- ・コロナの影響でのキャンセルになった学校に対してはフォローとして「クイズ形式のお仕事ドリル」送付している。
- ・通常の年齢制限を外して16歳以上限定の「アオハルプラン」を2021年3月19日に1日限定で実する。
- ・例年行っている「カンドゥー研修」については今後の状況により決定するが、今年度同様に行いたいこと。

《2020年2021年カリキュラムに関して説明》

石神

【新規導入科目】

- ・電話対応ベーシック及びカラーコーディネートの説明。
  - ・身だしなみ講座：ホスピタリティ産業へ向けた服装身だしなみと再度強化。
  - ・PC入門：ZOOMなどの遠隔システムや新たな就職活動や新たな生活様式に向けた内容。
- \*成果発表に関して：常勤職員からボイストレーニング等を担当する講師の職員が担当。  
舞台や音楽・表現ができる職員に一任した。

《学校状況について》

石神

- ・5月中旬に再開に向けたZOOM授業等開始し、3密対策や登校時の体温チェックなどを行い、6月より対面授業を開始した。行事に関してはコロナ対策をして一部実施したがほぼ中止。
- ・授業内容に関して行事实施分の授業単位を座学にて実施。例年実施している授業内『パークオペレーション』の内容の一部に感染症対策の内容や『ウィルス』や『抗ウィルス薬』や『ワクチン』の内容など一部の一般知識内容を加えた。
- ・新卒募集の件、例年募集をしていた観光業界求人及びテーマパーク業界のアルバイト求人の見合わせ多発し、学生の個別相談が多くなった。

進行：石神が分科会を閉会した。

以上